

大人に多い2次カリエスにご注意!

「カリエス」とはむし歯のことで、一度治療したところが再度むし歯になってしまうことを「2次カリエス」と言います。2次カリエスは詰め物や被せ物の劣化や、歯にくっつけているセメントの劣化、そして不十分な歯磨きが重なることで起こります。同じ歯に対してむし歯治療を繰り返すと、歯の寿命は短くなり最後は歯を失ってしまうことになるので注意が必要です。



2次カリエス対策



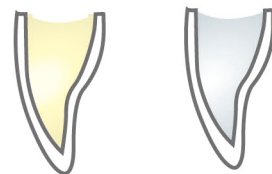
歯垢をためないようにする

まずはむし歯の原因となる歯垢をためないことが大事です。毎日の歯磨きはもちろんのこと、間食や糖分に気をつけるなど、食生活にも注意を払いましょう。



被せ物などには劣化しにくい材料を選ぶ

保険適用の被せ物などの材料は歯垢が付きやすく、劣化して歯との間に隙間ができやすい欠点があります。一方で、保険はききませんがセラミック素材だと劣化せず歯垢もつきにくくなるので、2次カリエスのリスクを大幅に下げることができます。



外側：セラミック 内側：ジルコニア
全てセラミック

歯科医院で定期的にチェックを受ける

毎日の歯磨きだけでは完全に汚れを落とすことは不可能で、蓄積した汚れがむし歯を作ってしまう原因になります。歯科医院で定期的に歯のクリーニング、詰め物や被せ物のチェックを受け、もし問題があれば早期に対処することも重要です。



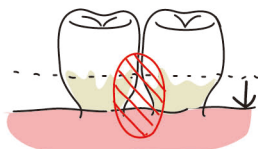
歯に食べ物が詰まる状態は、思わぬトラブルの原因に!

歯に食べ物が詰まる状態を放置しておくと、その部分からむし歯や歯周病が発症・悪化する可能性もあります。食後、歯に物が詰まりやすい人は、一度チェックしてもらいましょう。

歯に食べ物が詰まる原因

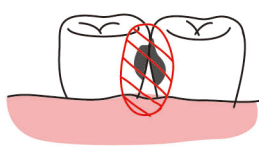
1. 歯と歯の間の隙間

歯周病が原因で歯の周囲の骨が下がると、歯と歯の間に隙間がいたり、歯に動揺が出たりすることによって、物が詰まりやすくなります。



2. むし歯

歯と歯の間にむし歯ができ、穴があくとその部分に物が詰まるようになります。



3. 詰め物や被せ物の劣化

詰め物や被せ物が古くなり、欠けたり穴があいたりすると、その部分に物が詰まりやすくなります。



4. 歯と歯の段差

歯並びが悪く、隣の歯と段差があると、その部分に物が詰まりやすくなります。

